

令和3年3月新規高等学校卒業生及び新規高等専修学校卒業生の
積極的な採用に向けたお願い

新規高等学校卒業生及び新規高等専修学校卒業生の就職対策につきましては、日頃から格別の御尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年春、令和2年3月新規高等学校卒業生の就職内定率は、佐賀労働局の調査によると99.4%となり、平成9年度以降では前年に次ぎ過去2番目に高い水準となりました。また、県内に就職した高校生の割合は、県の調査によると61.2%と、平成24年度以来8年ぶりに60%を超えることができました。

このことは、関係の皆様御尽力により、県内企業において求人票の提出や内定を早期に行っていたことによるところが大きく、深く感謝申し上げます。

そして、来年春、令和3年3月卒業生の就職に向けた状況に目を向けると、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会経済活動に大きな影響が生じ、宿泊業や飲食業、製造業など多くの業種において雇用維持に苦慮する企業が出ており、今後の見通しが立てにくい状況になっています。

一方で、こうした状況下にあっても、今後さらなる少子化の影響により若年労働力が一層減少が見込まれており、新規高等学校卒業生をはじめとして、将来の県内企業の発展・成長や地域の産業振興を支える人材の確保は、引き続き重要な課題であることに変わりはないところでございます。

こうしたことから、去る5月には、佐賀県知事、佐賀県教育長及び佐賀労働局長の連名で、「令和3年3月新規学校卒業生の積極的な採用へ向けた魅力ある職場づくりの推進について」要請させていただいたところです。

その後、7月には企業からの求人票が各高等学校に提出され、10月16日の各企業による採用選考開始に向けた準備が、企業、学校双方で進められているところでございます。

こうした中、7月31日現在の佐賀労働局の調査では、企業からの求人が前年同期と比較して28.2%減少し、就職希望の高校生も15.1%減少する一方で、県内での就職を希望する高校生の割合は62.9%と昨年度を0.9ポイント上回っているところでございます。

県内各企業の皆様におかれましては、このような時こそ、より良い人材を確保できる機会と捉えていただき、中・長期的な観点から新規高等学校卒業生及び新規高等専修学校卒業生の継続的かつ積極的な採用に努めていただくようお願い申し上げます。

以上、貴中央会加盟企業の皆様方に対し、会議・会報等あらゆる機会を通じ呼びかけていただきますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

令和2年9月4日

佐賀県中小企業団体中央会会長 内田 健 様

佐 賀 県 知 事 山 口 祥 義



佐賀県教育委員会教育長 落 合 裕 二



佐 賀 労 働 局 長 加 藤 博 之

